

第42回市民ふれあいトーク 環境とエコをテーマにしたまちづくり

日時 平成24年12月15日 10:30~12:00

場所 倉敷市環境学習センターエコライブラリー

要約版

市長

皆さん、おはようございます。今日は大変お忙しい中、「環境とエコをテーマにしたまちづくり」ということで、市民ふれあいトークにご参加いただきまして誠にありがとうございます。

私が市長になりまして始めてから40数回ということ、大変皆さんにご協力いただきましてありがとうございます。今日はこの場所でクリスマスツリーがあり、サンタクロースさんではなくて桃太郎さんでしょうか。いらっしゃいまして、なんとなくクリスマスらしい感じが漂っておりますけれど、市の環境学習の拠点であります環境交流スクエアにおきまして、「環境とエコをテーマにしたまちづくり」ということで開催できることを大変嬉しく思っております。今日は私と環境リサイクル局長と一緒に参加をさせていただき、皆さんと1時間ちょっと、意見交換をさせていただければと思っております。

最初に私の方から、倉敷市の環境計画とかのことにつきまして、大雑把なことをお話をさせていただき、皆さんとの意見交換というふうにさせていただければ、有難いなと思っております。今、非常に環境のことが、ちょうど衆議院選挙もありまして原発のこととかも話題になっているわけですが、環境のことが世間的に非常に注目を浴びだしてから、10何年か位は経ってきているんじゃないかと思えます。そういった中で、倉敷市が最初に環境に関することを条例にしましたのが、平成11年で、倉敷市環境基本条例を初めて倉敷市で作りました。そこから今10何年ということ。平成11年に環境基本条例というものが出来、それに基づいて次の年、平成12年に倉敷市の環境基本計画というものが初めて出来ました。大体10年計画くらいでありまして、今第2期目として平成23年から10年計画のものが出来てきているような状況になっております。

その中でこの二酸化炭素、温室効果ガスの具体的な削減というのが、最初の10年の計画の後半ぐらいから、京都議定書をはじめとして削減をする目標の設定をということになり、倉敷市が第2期の計画の倉敷市環境基本計画、平成23年度からの第2期中です。具体的計画が地球温暖化対策実行計画で、市では「クールらしきアクションプラン」と呼んでいるものがあります。その中で私たちの倉敷市全体の目標が2007年と比べまして、短期的には2012年に6%の温室効果ガスを削減、これは短期目標です。2007年と比べて2012年が6%削減を短期で目標にしましょうと、中期では2007年と比べて2020年には12%の温室効果ガスの削減をしましょうということを我々の計画として、市民の皆さんのご意見とか策定協議会で審議をいただきまして、今作っているわけでございます。その中で今の温室効果ガスの計画のことを言いましたけれど、市の環境の計画はこのCO₂、二酸化炭素、温室効果ガスの削減ということだけではなく、自然の保護でありますとか、生物多様性の保護でありますとか、一般廃棄物の削減の計画でありますとか、そんな色んなものがありまして、それぞれに具体的な計画を作っております。例えば自然環境の保全の実施計画とか、今作るのに取り掛かっており来年度中に作る予定になっているのが、生物多様性の地域の計画を作りたいと思っております。

大きな枠組みとして倉敷市の環境の計画を作って、それぞれの計画を作っているわけで

すけれど、具体的にこれまで私たちがどういうことをしてきたか、勿論市民の皆さんには、5種14分別の分けるのをお願いをして、地域の環境の委員さんたちに大変ご協力をいただきまして、指導していただいてどんどん進んできております。一方で市といたしましては、私が市長に就任させていただきましてから、回収しましたのが、ゴミステーションでのペットボトルの回収を以前はしておりませんでしたのをスーパーさんとかに協力をお願いして拠点回収だけしてありましたのを、資源ゴミの日にペットボトルの回収を家の方でしますとか、それから、それと併せて雑がみの回収についても別個にとか、ということを始めたりしました。また、なるべくご家庭でゴミを減らしていただきたいという想いを皆で持っているわけですが、その中で家庭ゴミの堆肥化のプロジェクトを、それまでありました生ゴミの堆肥化の倉敷市の補助金なども少し上げまして、なるべく皆さんがそれに使っていただけるようにするということをしましたり、もうちょっと広く見ますと、世の中の太陽光発電をもっと増やしていきたいということでありまして、倉敷市では補助の制度は平成16年から太陽光発電の補助の制度は作っていたんですが、大体1年間に200件くらいの方に補助をしておりました。私が市長に就任しまして、なるべく自然のエネルギーをもっともっと増やしていきたい、早く増やしていきたいということで、晴れの国岡山でございますので、平成21年から1年間に200件くらいだったのを1000件の補助対象にしまして、毎年大体1000件位の皆さんが太陽光発電をご家庭の方に入れてくださるようになりました。今年は去年の電力不足とか原発の電力不足がありましたので、もっと関心が高まると思い、今年は1年間に1500件の補助を行っております。今、市全体で、約8千何百件くらい、正確な数字は昔の分があるので出ないんですけど8500件くらいの太陽光発電の仕組みを入れている世帯の方がいらっしゃるようになってきております。かなり進んできていると思います。全体で倉敷市の世帯数が19万世帯ですので、大体20軒に1軒くらいは、太陽光とか自然エネルギーを入れてくださるようになっております。

また、太陽光発電だけではなくて、エネファームとか、水島の環境交流スクエアにも入っております。公共施設への太陽光発電の導入、倉敷市でもやっております、市民の皆さんにも呼びかけをお願いをしているんですが、緑のカーテンの事業とか、これから順次入れていこうと思っているんですが、学校でも太陽光発電は勿論のこと、出来る所では、今、地中熱を利用して暖房になったり、逆に冷房、冷たい風が来たりということも入れるようにしてきております。通気性が良くなるようにということもありまして、地中の方に大きな柱を埋め込みますと、地中は1年間温度は大体一定でございます。それを夏でしたら、そこから入ってくる比較的涼しい空気を学校の中に循環させたり、もしくは冬でしたら地中の方が温度が一定して暖かいわけですから、それが学校の中に循環するとか、そういうような色々な仕組みを取り入れて倉敷市としても、学校や公共施設、そして市民の皆様へ呼び掛けを、お願いをしまして、環境への関心を高めていただきたいと思っております。倉敷市も環境最先端都市を目指して頑張っております。まだまだこれから取り組みが必要だと思っておりますが、皆様のご協力を心からお願いしたいと思っております。

今日、「環境とエコをテーマにしたまちづくり」ということで、ここ倉敷市の環境学習の拠点であります水島の環境交流スクエアで、ぜひとも開催をしたかったわけでございます。水島の地域におきましては、ご存知のように以前の大気汚染の時代があり、この水島の地域が、企業の皆さんも地域の皆さんも大変努力をしていただきまして、今のように随分環

境の改善が行われてきました。市としましてもこの場所に環境に関する皆さんが関心を持っていただけるという拠点にしたいということで、環境交流スクエアを、以前の県の水島サロンから改良し、設置させていただきました。ここの環境学習ライブラリーとギャラリー、環境の展示ができる場所ということで行っており、大変多くの皆さんにも御利用いただいております。みんなで考えまして、環境ということは水や木や緑を使う。そのためにはやっぱり岡山県産の木を使って、この場所を造ったりということで、色んなこだわりを少しずつ持ち皆さんに関心を高めていただきたいと思いますので、また皆さんの方からも色んな場所でも宣伝をしていただければ、大変ありがたいと思います。

私ばかり話していてもいけませんので、今日は「環境とエコのまちづくり」のことにつきまして、ここ水島のことも勿論でございますし、市内全般のことで、「こういうところがいい」とか「もっと改良した方がいいんじゃないか」とか「ここはどうなっているんでしょうか」とか、今日は局長も連れてきておりますので、難しいことがでたら局長に答えてもらおうと思っているんですが、一般的なことで倉敷市の環境やエコのこういったところに力を入れていった方がいいか、そういうような観点でご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

参加者 A さん

これが私のトレードマーク、これが制服、かつらはモップで出来て、これは扇子、家内が古着で縫ってくれました。私は桃太郎の紙芝居を1人劇団でパフォーマンスしています。未来をのせた子供たちに、エコで作ったものを見せて演技する手作りの楽しさ、元気を貰います。お爺さん、お婆さんも出るよ。私ですけれど。桃を切るとびっくりします。それを色んな子供が集まる所でします。観光のためにもします。市の役に立つことなら何でも。私、前市長さんとお会いしていると思うんですよ。実際見てないからリサイクルでも市長さんと平成20年と21年。今回で3回目。貧乏人育ちですので、これが得意です。子供たちに私みたいにお金を使わないで作ってもらうと。それで今ここに持ってきています。私は桃太郎になってます、チンドンヤさんも1人でにぎやかにして人を集めるんです。エコです。エコ劇団。これは獅子を割り箸で作ってます。割り箸の上に布を貼って。これは顔が変化します。捨てたものを拾って作り上げています。子供が寄ってきます。おじさん、頭噛んで、勉強が出来ますように噛んでと物凄く来ます。

市長

ありがとうございます。私だけでなく皆さん感銘を受けられていたと思います。最初に市役所の庁舎の所でお会いした時に、ゴミを使って色んなものを作って美観地区とか、岡山の方でもされているんですね。色んな観光客の人とかに宣伝をされたり。環境の大切さもしていると言われていたんですが、私も実物を拝見したのは初めてでしたので、今日びっくりしました。前の環境のときは口で説明していただいたんで、やっぱりなかなか解り難い部分もあったと。今日良く判りましたし、いろんな物を造られてるんですね。今後ともゴミのリサイクルの大切さを頑張っていたいただければと思いますし、何かから出来ているとか説明をしながら、頑張っていたいただければ、ありがとうございます。

参加者 B さん

玉島に溜川公園という公園を一昨年、エコ型のビオトープ型の公園を造っていただき今大勢の人が、子どもさんやお年寄り、沢山の方が利用していただいて、いい物を造っていただき大変感謝いたしております。今日のお願いは、溜川にダルマガエルという蛙がいます。これはレッドデータブックの絶滅危惧種 類になっています。それがかなり絶滅に近い状態です。岡山県で言いますと、野殿という所と溜川とあと数箇所しかいないです。その数箇所しかいないのが溜川、このビオトープの中におるわけです。これは非常に場所もいいし、この絶滅危惧種の保護も兼ねているいる我々もやっとなるわけですが、平成10年の中田市長の時に、我々市民団体の多くの団体が玉島にビオトープ型それも絶滅危惧種のダルマガエルの生存できるような公園を造ってくださいということで、公園を造っていただいたんです。平成6年に着手されたと思います。平成9年に完成したわけですが、その結果、データが元川崎医科大学付属高校のI先生が、その先生はその調査を一生懸命されていまして、言いますと1994年のダルマガエルの溜川における生息数21個体。2002年8月、生息数13匹。それから2004年、14匹。それから2006年から9年まで溜川の工事にかかったわけですが、その結果どうなったかと言いますと、4匹とか7匹とか、先生のカウントなんで間違いないと思います。先生に言わせますと溜川のダルマガエルは絶滅に近い状態ですということになっているわけです。我々も色々岡山大学のO先生と相談してビオトープ型植物を植えているんですが、非常にサギとかに狙われやすく、足が短いために跳躍力も無いので、直ぐ捕れるわけなんです。だからツルツルにするよりも草が生えとった方がいいんですが、草が生えると、公園なのに草が生えとるじゃないかという、市民の方も色んな方がいらっしゃるんで、選択が難しい。要はこのダルマガエルが生息できるような、我々市民では、やる事が限られてますんで、是非市長さんに、我々施策は提供できますので、こうして欲しいとか、ああして欲しいとか、元川崎医科大学付属高校のI先生と相談して施設の提案をしますんで、その辺を採り上げて、是非この蛙が生存できるようにお願いしたい。このことについては、一昨年、環境大臣にも申入れをして、これは取り組もう、という環境省のお話もいただいておりますので、環境省と市長と相談されて、この蛙が生き残れますようにお願いを切に申し上げる次第でございます。

市長

溜川公園のダルマガエルのお話をいただきました。溜川公園を造ったこと自体は、地域の皆さんからも大変喜んでいただいていると伺ってますが、工事期間などの関係で、減ってきているということでございますよね。考えられる対策というのは、なかなか網を張る訳にはいかないと思うんですけど、どういうことが考えられるんですかね。

参加者 B さん

コンクリート護岸が駄目です。蛙が上がれない。それから今申し上げましたが、植物が20cm位生えてないと、野鳥といますかサギに食べられると、逃げ場所が無くなるんです。それとダルマ池という池は造っては頂いているんですが、獲物を捕らえたりして生活しているわけです。だからフィールドがいるらしいです。私は専門家ではないのでその辺のことは、I先生とか他の専門家の方が良くご存知だとは思いますが、具体的にどういう施策をしたらということ、今頭に浮かぶことは、コンクリート護岸をなくすること

と、植物を植えることと、I先生に言わせると今はテグスなんかだったら、公園に来られる方にちょっと邪魔になったりするんで、その辺はちょっと難しいかなと。

市長

I先生というのは大学の先生ですか。

参加者Bさん

川崎医科大学付属高校の元先生です。

市長

研究をされているんですね。ありがとうございました。絶滅危惧種 類であるということもありますし、直ぐにどういうことが出来るか私も答えられないんですけど、玉島の皆さんが、ダルマガエルの生息のために色々頑張っていていただいていると伺っておりますので、先生とかに市の方でも環境部の方でも相談をしてみたりしまして、コンクリートの所を土にすると防災の観点とかもあるかもしれませんので、そのあたりの所も良く、相談して出来る範囲で何か公園の中で出来ることがあればと思います。また公園の保護の方も一生懸命頑張っていてありがたいと思っておりますけれど、今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございます。ちなみに皆さんにお伺ひしてみるんですが、今日は水島の方が多いいと思います。玉島の溜川公園へ他の地区の方で行かれたことがある方はどのくらいいらっしゃるんですか。ありがとうございます。他の地域からも行かれる方もいらっしゃるんですね。こういう広報紙とかでダルマガエルのことは採り上げたことがあったような気がするんですが、今年の9月号。色んな方に知ってもらって、関心を高めてもらうことも必要だと思っております。貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

参加者Cさん

私どもの五軒屋町内会では、「緑のカーテン、ゴーヤでクールに、五軒屋町内会をホットに」をテーマにして取り組みました。去年は36件、緑のカーテンコンテストに応募しました。多分全体の20%強だったと思います。今年は51件の応募となり、市全体で99件ですので、過半数の応募になりました。町内会では倉敷では多分1番だと思っております。今後、吉田沙保里選手に倣って何年連続になるか、倉敷NO.1になりたく、今後も緑のカーテンコンテストを是非続けていっていただきたいですけど、去年に比べて4割ぐらい減っているんで、なくされたら困るなあと思ひまして。それと、全ての小学校でやっていると思うんですが、その辺のデータを簡単に採り上げる仕組みをつくれれば、それだけで小学校区は64あるかと思ひますので、だいぶ増えると思ひます。そのような仕組みと町内会等の団体を表彰する仕組みも考えていただければと思ひます。

それから、家庭部門のCO₂の削減についてということで、特に電気使用量の見える化というものをやっていただけると非常にいいなあと思ひまして。それには中国電力さんと協力して、倉敷市の方で実施して欲しいんですけど、見える化することによって削減策を具体化しやすくなります。特に町内会単位とか、個人単位で個人的に中電の方で送ってくれますので、町内会単位だとか、それが難しいようでしたら市でもいいんですけど、家庭部門での電気使用量が瞬時に日、月にわかるシステムが作れないものでしょうか。

それからもう一点、先ほど原発の話が出てましたけれど、私は海釣りが趣味でよく瀬戸大橋周辺に船ですけど、よく釣りに行くんですが、瀬戸内海に原発があると、もし福島と同じ様なことが起こると放射性物質に汚染されて魚釣りが出来なくなりますんで、非常に寂しいなと思っております。倉敷市の方では放射線量の測定というのは、定期的にやられているのでしょうか。教えてください。以上3点よろしく申し上げます。

市長

いつも緑のカーテンコンテストに町内あげてご参加いただきまして、誠にありがとうございます。緑のカーテンコンテスト、局長、募集件数は少し減っているんですか。

局長

大幅に減っています。

市長

大幅に減っている。それはPRが悪いんじゃないかと。始めましたきっかけは、今日も来る時見ていただいたかもしれませんが、倉敷の環境キャラクターくらいふだったり、それから皆さん、玉島の「良寛さん」ですけど、「良寛さん」の格好をした、漢字が「良い、環境」で「良環さん」で特別賞を出したんです、そのキャラクターの時に。くらいふが環境キャラクターですけど、あんまりいいアイデアだったんで、良い環境で且つ良寛さんが菅笠をかぶって、菅笠が太陽光発電になっていて、涼しいような蓑をかぶって歩いて色んな所へ。頭の菅笠と羽織みたいなのも薄い太陽光パネルで出来ているというので、それでエネルギーを得て、人間なんで歩きますということで、今後こういうのが実用化されていくんじゃないかと思ったんですが。太陽光パネルの笠と肩掛け 風力発電の杖をお供に、環境の布教に日本全国を行脚してます、ということだったんで、あまりにも凄いのでアイデア賞を出したんです。こちらはご存知のように倉敷の環境キャラクターのくらいふということなんですけど、これを始めた時に、皆さんの環境意識、色々な関心を高めていただくということなので、コンテストを始めて応募をしていただいたら、大変良く取り組んでくださっているわけですけども、言っていましたように学校とかが、全校応募しているわけではないように思いますし、また学校の方からの広がりもあると思っておりますので、私としてはちょっと応募件数が減っているという話でございますが、今後も続けていきたいと思っておりますので、吉田沙保里選手みたいに13連勝頑張ってください。

それから電気の見える化のお話とかをいただきまして、今市の方で太陽光発電をつけている設備、例えばこの環境交流スクエアであれば2F、小学校とか付けている所ではパネルにして、今どれだけ発電してますとか、今日の発電量はなんぼですとか、というのは見えるようにしております。まだなかなか一般のお家にそういう仕組みが、太陽光発電を入れられた所では、今日はいくら発電していくら売ってますとかが出るとは伺っておりますが、なかなか、どんどん普及しているわけではないと思いますので、とにかく市の方からも中国電力さんとかにも、この電気の見える化のことにつきまして、一緒に取り組みをしていきたいと思います。これからも申し上げていきたいと思っております。

局長

環境中の放射線量については、県が国から委託を受けた格好で、県内で今まで数箇所測定していました。岡山県は人形峠もありましたのでその絡みもあり、数点でやっていたんですけど昨年の福島事故以来、ちょっと心配だという声も多かったんで測定点を増やし、確か県のホームページにその時の濃度もわかるような表示もされていますので、市としてはモニタリングしてませんが、県でまとまった測定をやっていますので、関心があればそれを見ていただければと思います。

参加者 D さん

関心事で書いていることは市長や局長はご存知でしょうか？時間がないので読むだけにします。一番目 第二のセイタカアワダチソウと言われるヒメムカシヨモギを撲滅しよう。二番目は廃食油の回収処理は岡山市を参考にしよう。三番目は、ペットボトルのふた・エコキャップの回収は総社市を参考にしよう。よその参考が多いですが。四番目、回収委託業者の雑紙は焼却ごみでよいのか。全部焼いているそうです。箱もちぎってごみにするそうです。そんなことではいけません。五番目は公園の木を枯らすな。近くで3・4メートルの木を切って、2本の内1本枯れて、すぐ南も2本の内1本枯れて、その南も2本の内1本枯れました。そういう5つのことを言いたいんです。

2番目に書いているのは、若い頃サイクリングくらしきを作ったりサイクルの元祖、ゴミ減量協力団体の第1号であります。私たちのグループが。2番目が5種分別提案の元祖です。次がガラス瓶処理装置建設提案の元祖です。時間がないからあまりできませんけど、またよかったら改めて、局長や部長を紹介していただければ、しっかり話をしようと思います。

一番だけ言いましょうか。ヒメムカシヨモギ、去年10月頃新聞にでたのですが、ピーポで行って帰ると、市長は社長をしておられるんですけど、あそこへセイタカアワダチソウではなく、ヒメムカシヨモギが背の高いのが5千本くらい、数えたわけではありませんけど、その南の国際交流センターに2千本くらいありました。それで臨鉄に言ったら早く取りますということで取ってありましたけど。倉敷から帰るときに5千本、2千本、栄町の空き家に5千本とかたくさんありまして、合計4万8千本位ありました。数えたわけではありませんけど。町内会長さんに言ったりして、取ってもらいましたがどうにもならないものもあります。3万本くらいは私が取ったり、臨鉄さんが取ったり、土地の所有者が取ったりしていますから、だいぶ減りました。中央公園のリフレッシュ構想ですかね、中央公園へ芝生広場を作ったりするそうですが、そろそろ飛んでいくんじゃないかと思っていて、中央公園にも1千5百本くらいありましたけど、私がウオーキングしながら取りましたけど、切っただけじゃいかないので、抜かないといかんですけど、なかなか難しいです。時間の関係もあるので以上にしておきます。

市長

ありがとうございました。ヒメムカシヨモギのことについて色々活動していただいていると伺ってしまして、誠にありがとうございます。これは外来種になるわけですか。

参加者 D さん

外来種でしょう。新市・まちづくり推進課の さんにはこの紙を送っています。

市長

セイカタアワダチソウも非常に繁殖力が強いということで、在来種を駆逐するということがあって、なるべく増えないように、それと同じような草だと伺っております。ただ、駆除しなければならないものに、指定にはなっていないのでしょうか。指定にはなってはいらしいですが、そのあたりのところはどうなのでしょう。よく調べてみないと。

参加者 Dさん

しなければいけないです。昨年私が発見したんですが、旧三菱病院のところに3千本生えている、北に中電の社宅があり、そこにも生えていた。あの辺からずっとこっちに来ていると思います。水島栄町の駐車場の方へも飛んで来始めています。

市長

わかりました。環境省のほうへも、ヒメムカシヨモギのことについても問合せをしたりしまして、どういう対応がよいか、指定はされていないけど、こうしたほうがよいとか、色々なアドバイスも貰えると思いますので、よく調べてみます。また、アドバイスもいただければと思っております。何千本も駆除していただきまして、大変ありがとうございました。第二のセイタカアワダチソウの群生しているところですね。

参加者 Eさん

先ほど話がありました、クールらしきアクションプランの中に4つのクールと1つのホットということが書かれていまして、ホットの中に官民協働の市民活動推進組織、くらしきエコサポーターズを設立して、このプランを推進すると書かれているんですけど、この組織ができていいのかどうかということについての質問です。色々と倉敷市の環境とか政策の中で推進組織を作成すると書かれているんですけど、最終的に推進が進んでいないものは、大体組織が作られていないことが多いと感じています。2011年2月に発行されていて、2年近く過ぎているんですけど、この団体がどこにあるのか見つけ出せないものですから、教えてください。

市長

去年作りました計画で、中に書いてあるものが、全部進んでいるわけではないです。私もその団体ができているかすぐ答えられないのですが、取組みをするということが今後10年間の計画ですけれども、その間に色々な施策とあわせて進めていくということになります。今の段階ではできていないように思っております。今後進めていきたいと思いますが、その点について何かアドバイスがありましたらお願いします。

参加者 Eさん

色々なことを進めていく中で、市民の力も使いながら進めていくというのが一番広がるのではないかと、テーマになっている『環境とエコをテーマにしたまちづくり』でまちづくりをしていく中でも、官民が協働ということは必要だと思うので、早くそういうものを作って進めていかれたらどうかと思います。

市長

もちろん、エコ・環境のことは市ばかりがやっても全然進まないですので、市民の皆さんと一緒に進めていかないと、成果ができてこないと思いますので、そのあたりをしっかり肝に銘じて、なるべく早く、市だけ作るのではなく、一緒に相談して作っていきたいと思います。ありがとうございました。

参加者Fさん

2点お願いをさせていただきたいと思います。先ほど市長のお話の中で、公共施設への太陽光発電とか地熱を使った冷房・暖房ということでお話があったのですが、実は小中学校・支援学校あわせて、学校と呼ばれるもので幼稚園を除けば90校、倉敷市が抱えております。太陽光の発電パネルを可能な学校とそうでないところがあると思いますが、そういうところへ家庭用と同じように設置すると、かなりのイニシャルコストがかかると思うんです。ランニングコストについては月々1つの中学校であったら、中国電力に5万・10万のお金ではないわけです。支払っているのは、市の財政に対して膨大な額を、公園までいれると100数十公園になりますので、そのような市の施設で太陽光パネルが設置可能なところからイニシャルコストが何十億円レベルになると思うのですが、そういうものを設置することによって、市の財政、電力料金を一気に引き下げると。それは5年10年、ペイするのが10数年後になるかもしれませんが、そこから先は機械・パネルがもつ間は、市の財政に大きく寄与すると考えております。これは環境とエコとは変わるのですが、災害が起こった場合は学校等は避難場所の第一候補となると思うんです。そのときに中国電力頼みであれば、日中といえども電柱が倒れて断線してしまえば電力が供給ができない。ところが、学校や幼稚園を含めて発電ができれば、日中だけでも電力を確保できることになるということが技術的に可能であると考えます。そのような試算をされたことがあるのかわかりませんが、試算した上でコストパフォーマンスが低いとご判断されているのか、可能であれば本当に3.11のようなことが起こった時に、市民にとって非常に大きな安心感を与えることができる、現実にならなくなった時にディーゼル発電機を100台・200台を一気に用意するという事は難しいと思いますので、倉敷市の財政を考えても、最初のイニシャルコストをどうにか捻出していただかねばなりません。30年40年後になって、今の倉敷にこういうものがあるのは、市長がやってくれた事業だと、正直そういうシステムをお願いできればというのが1点。

もう1点は先ほどの方もおっしゃったのですが、環境とエコというのは、聞こえはよいのですが、実際には市民一人ひとりが努力したり、負担していかなければならないというのが現実だと思うのです。バブル期を除いて、日本の高度成長期のような成長はこれからはありえません。世界の経済情勢から考えて。リデュース・リサイクル・リユースの3つのRがあると思うのですが、リデュースについては分別等含めて、リサイクルもかなり進んでいると思います。リユースについては、ペットボトルはヨーロッパ諸国で数カ国、ドイツを中心にしていると思うのですが、ペットボトルは今リサイクルしています、倉敷市は、基本的に、回収率50%くらいでないかと思いますが。これをリユースできるペットボトルの開発というか技術導入になるかもしれませんが、そういうことは難しいのでしょうか。おそらく食の安全とか色々な法律があって、なかなか簡単にできることではないと

思うのですが、皆さんにお考えいただきたいのは、ビール瓶とか牛乳瓶などと同じ扱いのペットボトルであるというふうに考えていただければ結構で、リサイクルにかかる費用に比べると、リユースのほうが非常に効率が良いと、ペットボトル1つにしても。ただし、これをすべて倉敷市の財政で負担していくとなると大変なことで、実はそこからが市民が協力するところです。倉敷市内で販売されるペットボトル1本について、10円の税金をかける、市民が埋めるということです。便利がよいものを使っている以上はお金を払う、もしくは自動販売機が市内に何万台あると思いますが、1ヶ月1000円の税金をかける、そうすると自動販売機が減少していく可能性があります。要するに市民生活にとってやや不便になる可能性はあると思います。しかし、それを我慢することも市民の義務といえますか、市を支えていくため、どこかの大統領の言葉ではありませんが、市が何をしてくれるかではなくて、自分たちが市のために何ができるかという立場で物を考えていくことは、環境とエコについても同じであると思いますし、そのようなリユース可能なペットボトルの導入を日本国内でされている市町村があると私は知らないのですが、そのようなことを導入していく、それこそ先ほどの話ではありませんが、エコをやっていくためには何かを我慢しなくてはならない部分もあるんだよと、ここから便利な未来に突き進んでいくわけではないんだということを教えてくださったのも、実は伊東市長さんだったなということは何十年後にそういう時代がくると思うんです。私の感覚では、そういう施策は法的に非常に難しいかもしれませんが、もしクリアできて可能であれば、という提案・質問です。

市長

中学校教員、現場の先生が色々関心を持ってくださっていることを大変うれしく思います。同時に着眼点として、言っていたことはそれぞれ、ご最善なことだと思います。

太陽光発電システム導入のことですが、今現状で各学校とか市の公共施設で導入をしておりますのは、今の太陽光発電は大きなものになりますと、荷重もかかって重いです。一般の家庭におきまして、高梁川土手の道から見ると、なかなか過重の関係でつく家とつくのが難しい家があると見えるように思います。それと同じく公共施設のほうでも、例えば屋根の角度、ある一定の時期から学校の屋根がなるべく水が流れるようにと、屋根が平らから三角になっています。水が流れても、屋上から漏水しないような設計になっているんですけど、そうすると屋根に置けないようになっています。ところが、今度、年数もきているので、老松小学校の建替えをすることになったんですが、老松地域も人口密集地でもありますし、いざという時の避難場所に、先生が言われたように当然になります。そのときに、小学校の上のほうのフロアは避難場所として使うのですが、屋上も逃げられるようにということで、今回は屋上も平地にしようと思っているんです。かつ逃げる場所に使いたいということと、できたら太陽光発電もいれて、平地じゃないと太陽光発電を入れられないんで、というのが1つありますので。そういう学校の形とかからくる制約があります。それとコストは非常にかかります。学校に入れると当然何千万もかかるわけです。もちろん長期で見ればコストが回収できると思います。今は、学校の形の制約があるので、老松小学校のように建替えをするところからとか、新しく棟を増築するところから、上に置けるところがあるところから置いていくという考えでやっております。ただ私が期待しているのは、さっきその良環さんのアイデア賞ですが、これは水島のコンピナート企業で作られていると伺っていますけれど、今のような太陽光発電のパネルからこういう薄いパ

ネルに開発が段々進んでくるのではないかと、1年2年では難しいですが、と思います。そうしましたら、もっと手軽に形の制約があるところでも、太陽光発電の仕組みが入れて、学校でも教室ごとにでも、入るような方向に私はきっと進んでいくのではないかとと思うんです。そういう開発も水島の企業の皆さんも一生懸命やってくれていると思うので、早く進めばいいなと思っているのですが、今のところは屋根を全部改修していくのはコストの面で難しいという考えでやっております。

先生が言っていたことで、非常に重要なことは、災害の時に少しでも電気があったほうがいいということだと思います。市としましても太陽光になるかどうかかわからないんですが、特に災害のときに避難場所になります学校の体育館の電源のことについては、中電ばかりに頼っていると、もし停電の時に困りますので、そういう部分について計画的に今後準備したいと思っております。1つできている良い例とっていただいてもいいと思いますが、くらしき未来公園は芝生の広場も水も生物もいて、環境多様性ができるようになってはいるんですが、一方で太陽光発電の電気をつけていて、いざというときに多くの方が集まられますので、夜でもある程度は光が採れるようになっています。トイレも避難場所になったときに直接マンホールトイレとして、下に設置しておりますので、トイレに行きやすいように、防災の準備もしているようにやっております。そういうことを今後、避難場所になるようなところに入れていく、ですのでさっきも言いましたが、建替えになる老松小学校では、マンホールトイレの仕組みも準備もしてまして、避難場所になって、そういうときでも行きやすいように段々いれているような状況であります。こういうことを順番にやっていければいいなと思っています。

もう1つリサイクル・リユース・リデュースのリユースの部分が、まだまだ日本では進んでいないと思います。なぜかと言うと、今の日本の技術ではリユースをして、昔だったら牛乳瓶で配達して、それを返した次に配達だったんですが、今は紙パック若しくはプラスチックで配達したほうが、消費者も企業も安いということでそうなってるわけです。もちろん我々の努力もありますし、一部の洋服メーカーなどで始まっていますけれど、回収して、新たに裁断して、繊維をとりだして新しい服を作ることも始まっていますので、これからの方向としては少しずつではありますが、大量消費のものをどんどん作るばかりでないほうに向かっていくようになると思います。ただ、今のところ、1本あたり10円税金を掛けるのは難しいかなと思いますが、今後市としても何か少しでも、リサイクル・リユースと誘導できるような政策が何かできればいいと思っています。おっしゃっていた外国の例も研究していきたいと思っています。よいご発言ありがとうございました。

参加者 G さん

私がエコ対策と思っているのは、自動車に代わる水島のサイクルロード、自転車専用道路の整備をお願いしたいなと思います。まず、一番にできそうなのが、亀島山から福田公園まで続いています100メートル道路があるんです。両側3車線ですが、その3車線のひとつ外側に自動車が走れる道路がある。そこを一番に自転車の道路にさせていただいて、福田公園の中からライフパークへ続けて行けると、ぐるっと回らなくても、まっすぐ自転車で行ける、そういう道路ができないとライフパークに行きにくい、車がないと行かれないんです。私事ですが、今度お雛様もライフパークでして下さることになって、大勢の人に行っていたきたいので、そういうふうになったらいいなと思っています。そ

れから亀島山から向こうへは、芸科大学の生徒さんがライフパークやこのサロンに来ようと思ったら、「今日も何で来られたの」と聞いたら、自動車だったり、タクシーだったり、バスに乗るとどこで止まるかわからないような感じで、本当に交通の便が悪いです。学生さんは自転車に乗れるのでそこへ続けて、それから霞橋まで行って、高梁川の土手を走ったら、気持ちがいいなと思って、ぐるっと回って楽しみのサイクルロードもほしいなと思い、また中心のここからは臨海鉄道の沿線に水島駅・常盤駅・栄駅・弥生駅その辺りにもいくらか自転車に乗れるんですけど、タイルが貼ってあってボコボコしてますので、その整備をしていただいて、ちゃんとできると乗れるのではないかと思います。

それからエコ通勤で自転車で臨海鉄道を利用して、企業のかたに呼びかけてエコ通勤をしていただければ、人どおりも変わってくるのではないかと思います。一つのことから、色々なことに繋げて、水島を楽しく回れるようなサイクルロードの整備を始めていただけたら、繋がっていくのではと思います。子どもやお年寄りが少しでも動きやすいような町にしていきたいと思います。

それと中畝の大きい道路の真ん中の分離帯に公園があるんですが、公園ができて何年も経っていますから、木が大きくなって森になって、とても怖いです。その木をちゃんと整備していただいて、中は子どもたちが自転車に乗って走れるようなところができたらいいなと思います。

市長

ありがとうございました。いつもおかみさん会で活躍していただきまして、誠にありがとうございます。

水島地域につきまして、市のほうが皆さんと一緒に、今リフレッシュ構想ということで色々考えてさせているところですが、今言われたように水島地域につきましては高度成長期、コンビナートの成長時期もあわせて、町の整備が倉敷市内のどこよりも早く整備が進んだ地域であると思います。それが年数も経ってきているので、色々なところを修繕したり、直さないといけない時期になってきているのが水島の現状であると思います。ですので、まず来年以降、すぐに取りかかっていたいと思っているのが、水島の中央公園のリフレッシュから取りかかりをしたいと思います。使っていただいている方もいらっしゃるわけですが、真ん中の噴水の部分がありまして、面積も広いんですけど、使いにくいようなところになっていますので、そういうところを大きく直したり、周辺の駐車場も、本当はあまり車を使わないほうがよいのかもしれませんが、もっと使いやすいようにということで中央公園のトイレを直したり、噴水のところを芝生広場にしたり、先ほどありました木の剪定についても注意してしなければならないと思っていますし、プールの改修のほうも今始めているところです。水島地域の中心的な部分についても色々やり変えをしていきたいと思っています。その中で今、お話をいただきました道路の整備もするわけですが、サイクルロードとして設けることができるかどうか分かりませんが、倉敷市としても今年2月に自転車利用促進の基本方針を作ったということもありますので、自転車を使って、皆さんに快適に健康にエコにさせていただくのが非常に重要だと思っております。自転車のことにつきましては、水島地区に限らず倉敷市内でできるところから皆さんが進んで自転車に乗っていただきやすいような環境整備に努めていきたいと思っているのが一般的なところです。水島地区でどこがサイクルロードにできるかすぐには申しあげられな

いですが、ご意見いただいたことを頭に入れながら、皆でしっかり検討していきたいと思っています。ありがとうございました。

参加者 Hさん

こんにちは。水島では二つの問題があった。一つは市長の決断でここが残った。これが水島の誇りです。もう一つ、亀島山というのが、水島へ来た人は、みんな知ってる。これが、頂上の方には花を植えていただいて、本当に立派な公園が出来てる。ところが、山の下は穴を掘って、昔の戦争の惨めさをそのままにしておる。実は来年の8月ごろに何か全国的な組織があって、戦争遺跡を回って歩く団体が倉敷市を指定して来るんだそうです。これは大変だ、伊東市長に恥をかかせちゃならんと思って、私は今、ものを言ってるんですが。あそこは地下をいらないようにして、「もうそれで終わり」と言っていると、「伊東市長というのはどうか」ということになっては恥ずかしい。ですから、もう埋めるとか修理をするとかいうことは、大変お金がかかるから、電気を通してある程度、立ち入り禁止のところから見える範囲の設備をちょっとしとかなないと。よそから来て倉敷が笑われたら、我々も頭にくるから、一つ提案をしときますが。そういうことで、本当に上は平和な庭、下は戦争という悲惨なもの。こうしたことが、亀島山に来たら全部分かる。これは、僕は素晴らしいと思ってるんで、ぜひお考え願いたいと思います。以上。

市長

どうもありがとうございました。本当に、長年にわたり環境に対して御功績をいただきまして、心から感謝を申し上げますと共に、元の水島サロン、環境交流スクエアが、なんとか残る方向になるよう、住民の皆さんと一緒に、市とも色々相談していただいたことに、感謝申し上げます。今、このような形で、環境学習の場であるとか、そこにもビオトープとかも出来ましたし、ここ自体にも巨大な温熱、湯ライターみたいなものが出来て、使いやすくなったと思います。多くの、特に子どもさんたちに、環境学習の拠点として来てもらって、勉強して、水島というのはこんなに環境に気をつけている街だよと、全市域に発信してもらいたいという想いで、教育委員会にも頑張ってもらいたいと思っております。

さて、懸案の亀島山のことでありますが、山の上のところは、皆さんが花を植えていただいたり、それから今、ご要望もいただいて、例えば、見晴らしがいいように切ったり、また街灯を下ではなく、外の上の方に夜が暗いということで、街灯をいくらか増やせないかというご要望をいただいたりして、計画的にやっていければと思っているのですが、その地下の工場のところ、我々が一番気にしているのは安全の面でございます。それでご存知のように、中を全部埋め戻したりすると莫大なお金がかかって、なかなか市だけで出来るわけではない。さりとて、亀島山の工場跡地というのは、戦争の遺跡として残すべき貴重なものだということは、もちろん我々も分かります。分かっておりますし、PRも顕彰もしております。いざそれを、中の部分を私も出来ればいいと思いますが、言われるように、あるところまでは少し電気をつけて、ライトをつけて見学が出来るというふうにてできればいいと思うんですが、一方で、管理している者としては、もし何かの時に崩れたりということになったときにどうするんだと言うことが、職員の間が一番心配しているところです。そこが両立するようなものができれば、鍵をかけるばかりじゃなく、公開ができればと思っているんですが、まあ未だ試行錯誤しているような状況でして。来年の8月に何

があるんですか？

参加者 H さん

全国でね、団体があるらしい。それで、自分たちで実費でみんな来たりね、見学に歩くのに旅費を使ったりするのを、実費でやってる連中らしい。

参加者 I さん

ちょっと補足しますと、第 17 回戦争遺跡保存全国シンポジウムは、昨年三重県でありまして、来年の 8 月 17 日から 3 日間、このサロンで倉敷大会を開く予定にしています。

市長

ここであるんですか？

参加者 I さん

ここにあります。このコミュニティホールを全部借り切りまして、全国から来るようになっております。これはもう決定しておりますので、ぜひよろしくをお願いします。

市長

はい、ありがとうございます。続けてお願いします。

参加者 I さん

今日の新聞を見ますと、空き家の対策の条例が出来ましてほっとしました。今年 9 月にリフレッシュ構想の説明が水島公民館であったときに、空き家の問題をどう考えてるかを、まちづくりの方に質問しました。それは所有者なり、継続を受けた人がやるべきであって、市ではタッチできないというお話で突き放されました。それじゃあ、空き家対策ができませんじゃあないかと思っておりましたところ条例が出来た。非常に進歩したなあと、ありがたく思っていますが、水島が発展して 50 年。君麻呂の話じゃないけど、古くなってるんです。それで空き家が増えて、アパートとか、スナックその他の集合ビルが放置されて、ゴミの山になっている。野良猫の巣になったり糞尿があったり、非常に環境が悪化しております。一方的に市の当局の方にやって下さいというんじゃなくて、持ち主が、誰が今持っているのか、どういうふうにするのか、或いは若干の費用の補助をすればやりますよとか、何かの糸口がないと。建物を壊したり、改良してコミュニティの建物にするとか、そういったことにしないと、環境が良くなれないということを痛感しております。その点をご配慮をお願いしたいのが一点。

それから若干環境・エコとは外れるかもしれませんが、ぜひお願いしたいのが、海拔の表示ができました。これも 9 月によそがやってるのに倉敷がやってませんがと言ったら、早速それをやるということで、今回出来ました。300ヶ所に貼っていただいて、今日の新聞にでておりまして、非常にいいと思う。次の段階は、水島地区貼ってありまして、2m 以上の所はありません。大体が 0.5 ~ 1.5 くらいの海拔です。すると、普通の床上浸水ぐらいならいいんですけど、海が近くですから、避難場所の問題、津波の避難場所は高い所でなかったらいけないから、種松山へ逃げなさい、亀島山へ逃げなさいと、こういう

ことを平気で言うんですね。我々高齢者が段々増えてきたときに、果たしてそこまで行けるかどうか。市長にお願いしたいのは、避難ビルなり、高いところの避難場所を、地域と、我々と一緒になって、お願いに回って、2時間後に津波が来るよといわれたら、そこへ逃げられるような糸口、それによって、いろんな災害対策の集会所が出来るんですね。私たち集まって、どうするかというときに、それがいつも壁になるんです。種松山へ逃げる対策をやるうとか言ってもそれは出来ません、実際には、それから臨海鉄道は、高架が大体地上5mです。3～4mの津波には十分対応できるかなと。この沿線には相当の人がおります。個人的に臨海鉄道に言いましたら、線路内に勝手に入ってらっては困るというんです。だけど、津波が来るような大地震のときに列車が走りますか？だから市長さんが社長ですから、臨海鉄道も地域のために、利用者の利便性のことを考えるとともに、それだけのことはやってくださいと。それと、ホームから降りるような手すりのような階段を付けてもらって、ホームから降りないと収容人員が少ないですからね。そういったことも含めて、お願いをしたいと思っております。

市長

大変重要なことを言っていただきまして、ありがとうございました。最初に言おうと思ってたのですが、空き家の対策の条例が、昨日可決しました。もう一つが、環境リサイクル局長がこれまで取り決めをしてきたんですが、ポイ捨て及び歩行喫煙を制限する条例というもの可決になっておりまして、来年4月から施行されます。当然空き家条例の方は、今言われましたが、個人の財産ですので、勝手に壊したり改修したりすることは出来ません。ただそこまでに、何とか持っていくための方向をみんなで考えようというのが、今回の条例の趣旨でございます。もう一つのポイ捨て及び歩行喫煙の禁止というのが、当然歩きタバコというのは、どこにいてもいけないわけですけど、まず、倉敷駅の周辺から、非常に人通りの多いところで、他の人に歩きタバコがぶつかったり、煙で受動喫煙になったらいけないので、そういう繁華街といったところで制限してゆきましようというのを、新しく作りました。こういうことを通じて、いろんな面での環境意識が高まっていくといいな、というのが一つ。

それから、海拔表示板のことですが、一昨日から表示を初めまして、年末までに300箇所付ける予定にしております。その後は言われましたように、例えば一つには、地域における福祉避難場所であるとか。今まだありませんが、例えば地域の特養さんと、市が協定を結びまして、いざという場合は、障がいがある方は、福祉避難場所へ避難していただけるようにするとか。それから言っていたように、種松山まで、もしくはJFEの広江のグラウンドまで行けない訳ですので、そのときに、避難ビルをどうするかというのが今後の課題だと思っております。市と地域とが協力して、地域の大きなビルを持っている会社さんとか、今後交渉していくということに進んでいくようになるかと思っておりますけれど、そういうことをみんなで考えて、地域の避難場所はありますし、大きな広域の避難場所はありませんが、それ以外の、地域の実情に合ったものをですね、少しでも前に進めて防災対策ができていければいいなと思っています。貴重なご意見、誠にありがとうございました。突然で申し訳ないですが、先ほど仰っていただいたように、学生さんが何人か来て下さっていて、皆さん、芸術科学大学の学生さんですかね。全員で5人、せっかく若い人たちが来て下さったんですから、参加しての感想とか、一言お願いします。

参加者 Jさん

自分は県外から来たんで、こちらのことはあまり知らなかったのですが、皆さんの取り組み姿勢を見て、水島に対する想いとか、倉敷市に対する想いが強いんだなと知って、とてもいい市民の人だなという気持ちを感じて。それと、まだまだ改善しなきゃいけないことがたくさんあるんだなということを知って、いい経験をさせてもらいました。

参加者 Kさん

私も県外から来たんですけど、今日のはじめて市長さんともお会いしたし、市民の皆さんがいろんな環境問題とか他にも生物のこととかを考えているのを知って、そんなことがいろいろあったんだなということを知ることができて、とても勉強になったので、来て良かったと思いました。

参加者 Lさん

今ここに来られている方々、年配の方が多いので、私たちみたいに若い人も、こういうものに参加して考えていけたら変わっていくというか、いいだろうなと思いました。

参加者 Mさん

お話を聞かせていただいて、ダルマガエルのお話とか、亀島山のお話を聞いて、皆さん、地元への愛が強いと思いました。3月11日の震災等で東北がひどいことになったので、倉敷は津波とか地震のときの対応をきちんと整備できればいいなと思いました。

参加者 Nさん

僕は高校のときに、環境とエコの授業があったので、ある程度はわかっていたんですけど、また色々な人の話を聞いて違う意見も持ったので、また機会があれば参加したいです。

市長

ありがとうございました。今日は本当にいろんな観点から貴重なご意見を言っていて、ありがたく思っております。最後に、急に学生の皆さんに指名して。皆さんも今日のことからいろんな勉強をしてくれたんじゃないかと思います。倉敷芸術科学大学は、倉敷市、この水島地区にとって大変大切な大学です。皆さんたちは今日ここへ来て参加してくれているので、県外から来てくれる方たちも水島のことに関心を持ってくれると思うんですけど、周りのお友達も学生の皆さんがいろんな機会を通じて、水島、倉敷市のことに関心を持ったり、参加してくれることを期待しています。今日のことを学校で、周りの友達とかにも話してもらったら、ありがたいと思います。皆さんと非常にいい意見交換をさせていただいたと思います。年末に近づいていますので風邪をひかないよう、来年がよい年になりますように、倉敷市も良くなっていきますようにご協力をお願いいたします。今日は大変ありがとうございました。